

せと環境塾 2020 レポート

講座名:発見！東大演習林の秘密と水辺のいきものたち

と き：令和2年9月5日（土）午前9時30分～午後12時30分

場 所：東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林生態水文学研究所 赤津宿泊施設

参加者：10名

講 師：東京大学生態水文学研究所の皆さん

講座の内容

瀬戸市になぜ、東大の施設があるのかを演習林を散策しながら学んだり、水辺にどんな水生昆虫が生息しているのかを調査しました。

前日まで台風の影響を心配していましたが、朝から気持ちのいい晴天となり絶好の環境塾日和となりました。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、2チームに分かれてそれぞれ演習林の散策と水辺のいきもの調査を行いました。

参加者の方から講師の方がたに、施設についてや水生生物について多くの質問もあり、少ない人数ながらも活気のある講座となりました。



雨量計について教えていただきました



散策しながら、東大演習林について学びました。



量水堰(りょうすいげき)は100年間、川の水量を測っています。



水生生物調査のやり方を教えていただきます。



どんな生き物があるかな？



見つかった生き物をじっくり観察しました。



カワヨシノボリを発見！！

《参加者の感想—アンケート自由記述—（一部抜粋）》

- 自分の住んでいる流域や自然のことを知れて良かった。
- 子供向けの水生生物調査が良かった。
- 水中の生き物をたくさん採れて良かった。
- 森林をもっと歩きたかったです。とても興味深くてもっとお話をうかがいたかったので、もう少し時間が長くてよかったなど、個人的には思いました。
- 地域に関連した施設に役割がよくわかった。通常は入れない場所が見学できた。
- 身近に貴重な自然があることが改めて分かって良かったです。長い年月をかけて調査することで見えてくること... 今後も楽しみです。また参加したいです。水中の生物も思ったよりも沢山の種類を見ることができて、特にふだんあまり目に留めていなかった小さな生物たちに注目することができたのが良かったです。